

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

流行性角結膜炎(はやり目)が引き続き警報レベルです！

熊本市における第39週(9月21日～9月27日)の定点医療機関あたりの流行性角結膜炎患者報告数は、11.20人(定点数5ヶ所、患者報告数56人)で、前週(13.40人)より減少しましたが、まだ報告数が多い状況です。流水と石鹸でていねいに手を洗い、感染を予防しましょう。

RSウイルス感染症に注意しましょう！

熊本市における第39週(9月21日～9月27日)のRSウイルス感染症患者報告数は、1.63人(定点数16ヶ所、患者報告数26人)で、前週(1.75人)より減少しましたが、例年冬に報告が多くなるので、感染予防に努めましょう。

【RSウイルス感染症の特徴】

2歳までにほぼ100%の小児が少なくとも1度以上は感染します。年長児や成人では、風邪のような症状のみで比較的軽症で済みますが、乳児期早期(生後数週間～数カ月間)にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。潜伏期間は4～6日間で、その後発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。重症の場合は、ひどい咳、喘鳴、呼吸困難などの症状が出ます。治療は、対症療法を行います。

【感染予防のポイント】

- RSウイルス感染症の感染経路は、飛沫感染と直接的・間接的な接触感染です。
- ・流水・石鹸によるていねいな手洗いやアルコール製剤による手指衛生を行いましょう。
 - ・日常的に触れるおもちゃ、手すりなどをこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒しましょう。
 - ・咳などの呼吸器症状がある年長児や成人は、乳幼児との接触を避けるもしくはマスクを着用して接するようにしましょう。

期 間		平成27年 第38週		平成27年 第39週	
		9/14～9/20		9/21～9/27	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	→	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	→	28	1.75	26	1.63
咽頭結膜熱(プール熱)	→	6	0.38	0	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	26	1.63	9	0.56
感染性胃腸炎 流行中	→	56	3.50	42	2.63
水痘(みずぼうそう)	→	5	0.31	0	0.00
手足口病	→	40	2.50	26	1.63
伝染性紅斑(りんご病)	→	8	0.50	8	0.50
突発性発しん	→	16	1.00	14	0.88
百日咳	→	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	→	15	0.94	7	0.44
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	5	0.31	6	0.38
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目) 警報レベル	→	67	13.40	56	11.20
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	2	0.40	3	0.60
マイコプラズマ肺炎	→	12	2.40	4	0.80
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00